

受験番号			
------	--	--	--

令和6年度
鹿児島県職員採用試験（民間企業等職務経験者対象）
第1次試験

専門試験

[2 ページ]
[解答時間 2 時間]

試験区分	土木
------	----

- ※ 道路、河川、海岸、港湾から2科目選択すること。
- ※ 答案用紙は科目ごとに別にすること。

【科目：道 路】

- ※ 全問解答すること。

- 1 社会資本の整備に伴う効果には、フロー効果とストック効果がある。そこで、それぞれの効果の概要について説明するとともに、道路整備に関して考えられるストック効果の事例を一つ挙げ、その概要を説明しなさい。
- 2 平成30年の道路法の改正により、物流上重要な道路輸送網を国土交通大臣が指定する「重要物流道路制度」が創設された。
これを契機とし、本県は、県内各地域の将来像を踏まえ、広域的な道路交通の今後の方向性を定める「かごしま新広域道路交通ビジョン」及び「かごしま新広域道路交通計画」を令和3年6月に策定したところであり、本ビジョンでは、本県の広域的な交通の課題や取組などが示されている。
本県において、平常時及び災害時のそれぞれに考えられる交通課題について述べなさい。

【科目：河 川】

- ※ 全問解答すること。

- 1 河川法第3条において、「河川管理施設」とは、「ダム、堰、水門、堤防、護岸、床止め、樹林帯その他河川の流水によって生ずる公利を増進し、又は公害を除却し、若しくは軽減する効用を有する施設」とされている。
その中の「堤防」には、形状や機能などから様々な種類のものがあるが、堤防の種類を3種類挙げ、それぞれの概要について説明しなさい。
- 2 「河川堤防」は、洪水や高潮などの河川流水の氾濫を防ぎ、人命や財産を守る極めて重要な施設である。
「河川堤防」の築堤盛土を施工する際に留意すべき点を二つ挙げ、それぞれの概要について説明しなさい。

【科目：海 岸】

※ 全問解答すること。

- 1 海岸施設は、機能面から漂砂制御施設、波浪・高潮対策施設、津波対策施設、海岸環境創造施設などに分類される。
このうち、漂砂制御施設に分類される海岸保全施設を二つ挙げ、それぞれの概要について説明しなさい。
- 2 国が令和2年6月に改訂した「海岸保全施設維持管理マニュアル」には、予防保全型の維持管理に基づく、海岸保全施設の点検、評価、対策工法、長寿命化計画等の標準的な要領が示されている。
海岸保全施設において、地形等による劣化や被災による変状が起こりやすい箇所の特徴を三つ述べなさい。

【科目：港 湾】

※ 全問解答すること。

- 1 防波堤は、港湾内の水域の静穏を維持することにより、船舶の安全な航行、停泊又は係留、貨物の円滑な荷役及び港湾内の建築物、工作物その他の施設の保全を図ることを目的に設置される。
また、その構造形式により、主に「傾斜堤」、「直立堤」、「混成堤」及び「消波ブロック被覆堤」に分類される。
それぞれの構造の概要及び特徴について説明しなさい。
- 2 本県では、2050年カーボンニュートラルの実現に向け重要港湾の脱炭素化の取組を進めており、川内港においては、令和6年3月に県内重要港湾で初めてとなる「川内港港湾脱炭素化推進計画」を策定したところである。
そこで、港湾に関するカーボンニュートラルの実現に向け、考えられる取組を三つ述べなさい。